

多様化する学習環境に対応する教育プラットフォームの提供

教育ICT環境の実現を目的としたGIGAスクール構想*により、教育現場への情報端末の普及とともに、その活用も課題とされています。NTTコミュニケーションズではクラウド型教育プラットフォームを経由して誰でも簡単に利用できる環境を提供しています。

*全国の児童・生徒に一人1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取組み

SOLUTION

1. 学習環境に左右されない学びの機会の提供
2. 児童・生徒の特性に応じた個別最適な学びの支援
3. 学校と保護者間の連絡デジタル化による教職員の負担軽減

SOLUTION

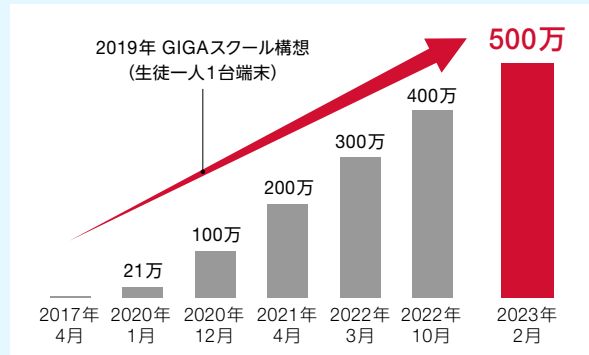
「いつでも」「どこでも」使える学びのプラットフォーム

1,2,3 まなびポケット

まなびポケットは、公立の小中学校を中心に提供しているクラウド型教育プラットフォームです。インターネット環境とそれに接続可能な端末があれば学校だけではなく家庭からもアクセス可能なため、新型コロナウイルス流行時のオンライン授業でも活用されました。児童・生徒、教職員が一人ひとつのアカウントを持ち、AIドリルや協働学習ツール等の多種多様な学習コンテンツにシングルサインオンでアクセスすることも利便性を高める特徴のひとつです。また、コミュニケーション機能も搭載しています。教職員と児童・生徒間のメッセージ機能だけではなく、児童・生徒の欠席連絡やお便りの配信といった学校と保護者間の連絡をデジタル化することで、多忙な教職員の負担軽減に寄与しています。

将来的には児童・生徒の学習データや出欠の状況、健康状態といった様々なデータを分析・可視化していくことで個別最適な学びの実現に貢献していきたいと考えています。

まなびポケット申込みID数の推移



文部科学省が開発したCBTシステム「MEXCBT*1」の入り口となる「学習eポータル*2」としても多くの自治体選ばれており、全国で12,000校以上の学校に導入され、申込みID数は500万を突破しました。

*1 文部科学省CBTシステム「MEXCBT(メクビット)」は文部科学省が開発をすすめる、児童・生徒が学校や家庭において、国や地方自治体などの公的機関などが作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができるCBT(Computer Based Testing)システムです。CBTは問題用紙やマークシートなどの紙を使わずコンピューターを利用した試験をさします

*2 学習eポータルは、GIGAスクール構想で整備された一人一台環境と高速ネットワークを活かし、ソフトウェア間の相互運用性を確立してユーザーにとっての操作性を向上させるとともに、教育データをよりよく活用するために構想された、日本の初等中等教育向けのデジタル学習環境のコンセプトのことで

まなびポケット全体像

